

須木中 学校通信

令和6年度 8月号
小林市立須木中学校
令和6年8月22日(木) 文責：中屋敷



○平和学習 7月19日(金) 8月9日(金)

7月19日の集会では、戦時中に桜花のパイロットだった方の思いが語られた動画を視聴し、若くして散っていった特攻隊の方々の思いにふれました。

8月9日の集会では、1970年12月29日に朝日新聞に掲載された、学徒兵として東京大空襲後に遺体の収容作業に従事した須田卓雄さんの体験談を紹介しました。(要約をホームページの校長日記に掲載しておりますので是非ご覧ください) これは、焼夷弾が降り注ぐ中、赤ちゃん必死に守ろうとして亡くなった母親の話です。

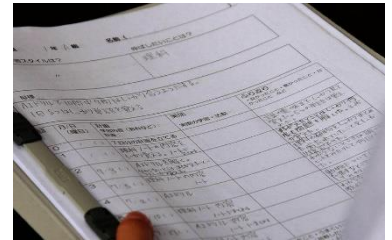
生徒達には、夏休み中に79年前の戦争について、自ら本やテレビ番組等をとおして学習する機会を設け、自分事として平和の尊さや命の大切さについて考えてほしいという思いを伝えました。



○学習集会実施 7月19日(金)

朝学習を中心に取り組んでいる学びの基礎基本の取り組みについて、2週目を終えての振り返りを行いました。

生徒それぞれに取り組んでみてわかった気づきがあり、夏休み明け以降の取り組みにつながるものになりました。

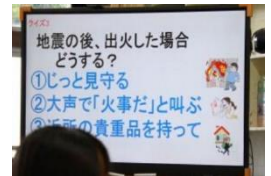


○ボランティア活動 8月2日(金)

7月18日には、小林市社会福祉協議会の方に来ていただき、8月2日の暮らしの困りごと助け隊(地域の方に対する中学生が行うボランティア活動)に向けての講習を行いました。

その際、能登半島地震のボランティア対応職員として珠洲市に派遣されたときの現地の状況と災害対応について説明がとても勉強になりました。

8月2日には、生徒達が実際に須木地区のお宅を訪問し、除草作業や清掃、拭き掃除などのお手伝いに汗を流しました。



○小中合同研修会 7月25日(木)

小中一貫教育の取り組みの一つとして行ったもので、「ひなたの学び」への理解を深め、授業改善や指導力の向上を図ることを目的として約2時間半の研修を行いました。

講師の先生のわかりやすい資料の準備やご説明、具体的なご指導等、職員にとって「ひなたの学び」を進めていく自信と力が湧いてくる内容でした。演習では、実際に授業の流れ作成し、小中学校の先生方でグループ協議を行い、「ひなた」の視点を含む部分を示しながら自分の授業の流れについて情報共有しました。

今回の研修の成果を夏休み明けの授業からしっかり生かし、実践していきたいと考えています。



授業をデザインする際に意識する視点(例)

- ① この授業の**本質**は何か
- ② この授業で**身に付けさせたい能力**は何か
- ③ その能力が育成できたかを **どのように評価**するのか
- ④ この授業は**どの学習指導過程を重視**するのか
- ⑤ そのために**どのような環境づくり** (問いかけ・準備・支援など)を行うのか

○9月の主な予定

3・4日 1,2年課題テスト、3年実力テスト 17日(火)~水泳(19日、24日、26日) 20日(金) 英語暗唱弁論大会

※変更の場合もありますので、学級通信等でご確認ください。



○編集後記

日向灘で大きな地震が発生しました。学校は特に被害はありませんでしたが、引き続き大きな地震が発生した時に備えて、避難経路の再確認をはじめ、命を守る取り組みを常に意識して対応していきます。

終戦79年を迎えました、生徒達に語り継いでいくべき話はまだまだたくさんあると感じています。(中)